

社会学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

井上 慧真

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は「若者」という視点から、日本社会の様々な問題を社会的に考えることを目標とします。4年次に取り組む卒業論文・卒業研究に向けて取り組むテーマを発見し、報告すること、また他の人の報告についてともに考えることを通じて、私たちの生きる現代社会の問題についての理解を深めます。

2. 授業の到達目標

各自が関心を持ったテーマについて卒業論文・卒業研究に取り組むために必要な知識を身に付け、討論やグループ活動を通じて理解を深めること。3年生は卒業論文・卒業研究のテーマを定め、基本的な構成を決めること、4年生は卒業論文・卒業研究を仕上げていくこと目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

出席および議論への参加(40%)、報告(40%)、レポート(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

石黒圭 『これ一冊できちんと書ける!論文・レポートの基本』 日本実業出版
酒井朗・中村高康・多賀太編 『よくわかる教育社会学』 ミネルヴァ書房
森下伸也著 『社会学がわかる事典』 日本実業出版社、2001
浅野智彦著 『図解 社会学のことが面白いほどわかる本』 中経出版、2002
中西新太郎・蓑輪明子編 『キーワードで読む現代日本社会 第二版』 旬報社、2013

5. 準備学修の内容

自身の関心のあるテーマについて、適切な文献・論文・データを参照して報告資料・レポートを作成すること。参照した文献・論文・データの内容を紹介するだけでなく、自分自身の考え(関心をもった理由や、報告資料・レポートの作成過程で考えたこと)も明確に表現すること。

6. その他履修上の注意事項

- (1)必ず初回の授業に出席して下さい(やむを得ない理由で欠席する場合は連絡すること)。
- (2)成績評価は授業に継続的に参加し、報告や質問を行ったかを重視します。
- (3)病欠や就職活動による欠席など、やむをえない理由(学生便覧に掲載のあるもの)以外で報告を欠席した場合、単位を認定しません。またやむをえない理由による欠席であっても、必ず事前に連絡をして下さい(事前連絡なく欠席した場合、単位を認めないことがあります)。やむをえない理由を除き、遅刻は、減点の対象になります。

7. 授業内容

【第1回】	イントロダクション・報告担当の割り振り
【第2回】	報告・討論(1)
【第3回】	報告・討論(2)
【第4回】	報告・討論(3)
【第5回】	報告・討論(4)
【第6回】	報告・討論(5)
【第7回】	報告・討論(6)
【第8回】	報告・討論(7)
【第9回】	報告・討論(8)
【第10回】	報告・討論(9)
【第11回】	報告・討論(10)
【第12回】	報告・討論(11)
【第13回】	報告・討論(12)
【第14回】	報告・討論(13)
【第15回】	まとめ